

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：セント・ケアおおの	種別：地域密着型特別養護老人ホーム	
代表者氏名：小林 浩司	定員（利用人数）： 29 名	
所在地：岐阜県揖斐郡大野町黒野 190 番地 1		
TEL：0585-35-0064	ホームページ： http://www.plaza2loono.jp/koujinkai/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 24 年 3 月 27 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 浩仁会		
職員数	常勤職員： 29 名 非常勤職員 24 名	
専門職員	医師 1 名	
	生活相談員 1 名	看護職員 2 名
	介護支援専門員(歯科衛生士兼務) 1 名	介護職員 14 名
	管理栄養士 1 名	
	看護職員 1 名	
	介護職員 22 名	
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	ユニット型個室 29 室(洗面台付)	リビング(3か所) 事務室 厨房 浴室 3 室(介助浴、寝台浴) 医務室 スタッフステーション 多目的室

③理念・基本方針（※転載）

❀❀ 社会福祉法人 浩仁会理念 ❀❀

全人的トータルケアのもと、「敬愛」と「博愛」の心を大切に、地域社会に貢献いたします。

～安心で自由な暮らしを提供していきます。～

❀❀ 基本方針 ❀❀

1. 人間の尊厳と個人の尊厳を重視し、「ぬくもり」と「思いやり」のあるサービスを実践します。
2. 「和をもって」安心で良質なチーム育成に努めます。
3. 日々常に切磋琢磨し、技術の向上に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・医療法人を母体としたグループ法人であり、併設施設として、ショートステイ、グループホームを持つ等、複合的施設展開を行っている。入所に際して、少しずつ、ショートステイの宿泊サービスを利用しながら環境に慣れてもらい、またショート利用中に介護度が重篤になっても、環境の変化による心身の負担を最小限にしながら、グループホームや特別養護老人ホームを利用する事ができる。
- ・地域包括支援センター等の関係機関と協働して、認知症サポーター養成講座を開催する等、地域との関係を深めるべく、積極的に地域活動を行っている。
- ・今後の介護人材不足に備え、介護ロボットやICT活用、介護助手の雇用等を進め、介護サービスの質の向上、業務の効率化や生産性の向上に向けた取り組みを行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年7月30日（契約日） ～ 令和4年9月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回

⑥総評

◇特に評価の高い点

<職員の人材育成、スキルアップ、資格取得に向けて支援を行っている。>

利用者、家族が安心して利用できる介護サービスの提供を目指し、職員の質の向上を目的とした研修を階層別・職種別を実施しており、職員が積極的にチャレンジできる仕組みづくりに取り組んでいる。「資格取得計画」として、職員の専門性や資質向上を目的に目指し、積極的に職員の資格取得に向けてバックアップしている。多くの職員が介護福祉士資格や介護支援専門員資格等を取得し、また大半の職員が喀痰吸引等研修を受講している。

<地域全体で高齢者を支えていく支援ネットワークづくりを行っている。>

地域の高齢者介護の拠点施設として、要介護高齢者やその家族の生活支援の在り方について地域の人々の理解を深めてもらうよう介護予防教室等を実施するとともに、地域に暮らす認知症高齢者・家族に向けた認知症サロンを開催し、介護相談等を行う等、地域支援に取り組んでいる。

<介護ソフトの導入による業務の効率化及び介護ロボット等介護補助器具の導入を積極的に取り入れている。>

介護のIT化を進める事により、利用者の快適な生活の実現並びに職員の負担軽減、労働力不足を補っている。

◇改善を求められる点

<今後ともあるべき介護についてのさらなる探求に努められたい。>

介護業務の効率化や職員の負担軽減を目指し、積極的に介護支援ロボットの導入や業務のICT化の推進に努めている。一方で、介護の基本をおろそかにせず、職員研修を通じて研鑽を深め、利用者の接遇の向上に努めている。今後とも、利用者の尊厳や意思決定支援等を保持するとともに、エンパワメントを高めていけるよう、ICT化時代に応じた新たな介護のかたちの追求に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、支援のあり方や施設経営について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する高齢者ニーズに対応した支援の提供に努めていきたいと考えています。

また、今後とも、地域に開かれた施設として、さらなる地域貢献に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。